

山盲だより「むつぼし」第14号

発行 平成29年3月10日
山形盲学校総務・広報部

研修会を通じて感じたこと

PTA会長

点字ブロック理解推進事業は会員の皆さまのご協力もあり、二年目を迎えました。今年度も山形駅、山形警察署の方々からご協力をいただきより多くの方々に点字ブロックについて知ってもらえたのではないかと思います。この活動の大切さを実感し、今後も継続してほしいと思います。

今回、県特別支援学校PTA連合研修大会の「就学支援と社会自立に向けて」という分科会に参加しました。そこでは、相談支援センターの方からお話をお聞きし、自分にも思い当たることがあり改めて考えることができました。「子ども自身が障がいを理解できているか、親は子どもに対していつまでも子ども扱いしないで、年齢相応の対応をしていますか」という言葉に、私自身も「子どもだから」といい、つい手を貸しすぎてしまっていたのかなと思うことがありました。

今回参加して、障がいを持つ子どもの保護者は研修会に可能な限り積極的に参加すべきだとより強く感じました。保護者が交流を深め、子育ての悩みや体験を打ち明け、話を聞くことで気持ちが楽になったり、いろいろな情報が得られたりするからです。

会員数が少なくなり大変ですが、みんなで協力し合い、PTA活動を盛り上げていきましょう。

友遊自然塾について

PTA保体部長

今年度は、学校を会場として芋煮会とフロアバレーボール体験を実施させていただきました。芋煮会では、村山風と庄内風を堪能することができました。午後からは、体育館でフロアバレーボールを体験し、親子で親睦を深めることができたのではないかと思います。

来年度もみんなで話し合い、計画を進めていければと思っております。

※友遊自然塾 10月2日（日）学校にて実施。 50名参加

第2回PTA研修会

期日：平成29年1月13日（金）13：30～14：30

会場：大会議室

テーマ：「親に言えない、言わないことがあるんです」
～自立に向けてのサポート～

話題提供：①伊藤公子 養護教諭

「保健室から見える児童生徒の心の様子」

②障がい支援部（豊後博子教諭、石澤洋喜教諭）

○参加者の感想

- ・子どものこれからのことを考えることができました。
- ・参加された保護者の方、先生方のお話を参考にして、自立に向けて少しずついろいろなことに挑戦させていこうと思います。
- ・家庭では聞けないような子どもの意見を先生から聞くことができ参考になりました。
- ・先生に会をリードしていただき、とても話しやすかったです。
- ・親のちょっとしたことで、子どもに気をつかわせて言えなくなっているんだと気づけました。

点字ブロック理解推進事業

期日：平成29年9月22日（木）

会場：山形駅

児童生徒、保護者、教職員64名参加

昨年に引き続き、点字ブロック理解についてのチラシなどを配りました。

各学部の行事より

<幼小学部>

- ・蔵王温泉、横倉ゲレンデでスキー教室。2回とも天候に恵まれました。
- ・上山市の須田善昭さん宅で干し柿作りを教えていただきました。

<中学部>

- ・材料をみんなで買ってみはらしの丘でいも煮会。
最高のいも煮ができました。
- ・長寿園を訪問し、山盲祭で発表した鼓笛楽を披露。
皆さん喜んでくださいました。

<高等部>

- ・花器を作り、フラワーアレンジメントを小倉の工藤さんに教えていただき、
近くの施設や学校にプレゼントしました。
- ・保理科、理療科の学習——卒業生を講師に迎えてのスペシャリスト講演会。

<寄宿舍>

- ・高等部行事——バイキング体験を兼ねた夕食会。盛りだくさんの料理に
みんな大満足でした。
- ・クリスマス会——何が当たるかドキドキ、わくわくのプレゼント交換！音
楽に合わせてみんなでシャッフル！

旅立つ3人からのメッセージ

◎卒業にあたって

理療科3年 男性生徒

入学して早三年、あっという間に卒業の時期を迎えました。先生方をはじめ多くの方々のご指導のもと、理療人として、また社会人として自分なりに成長できたことを感謝しています。

変化の激しい時代の中でしっかり対応しながら、自分が社会の一員としてやるべきことを意識しながら生きていこうと思います。

三年間ありがとうございました。

◎三年間をふり返って

理療科3年 女性生徒

今から三年前、周りの友だちが進路をどんどん決めている時、私は進みたいと思う道がなく、父親から「盲学校に入れ。」と言われて盲学校に入学しました。最初は行きたくないと思っていました。入学したら同級生はすごく年上で生徒の数がとても少なくていつも静かで、そういう環境でも楽しく三年間過ごしてこれました。とてもクセの強い先生方や技能員さん、見た目が迫力あるKさん、ずっと私の世話をしてくださったSさん、担任の富樫先生、本当にありがとうございました。

卒業後は、鍼灸マッサージ師として、この仕事でご飯を食べていけるよう、技術や患者様への対応、施術者としての心構えなど本校で学んだ多くのことや人との出会いを大切にこれから的人生を歩んでいきたいです。三年間ありがとうございました。

◎三年間を振り返って

保健理療科3年 男性生徒

早いもので、もう三年がたとうとしています。入学当初の私は、理療という海の物とも山の物ともわからない世界、また、今までにしたことのない学習に悪戦苦闘の毎日を過ごしていたように思います。将来の目標も定まらず、悩んでいたように思います。また、二年生になってからは、急な視力の低下により眼痛などの様々な症状に悩まされ、勉強が進まない日も多々ありました。学校や寄宿舎では、常に先生方が心遣いをくださり、良きアドバイスをいただきました。良き仲間とも出会い、充実した三年間だったと思います。

山形盲学校は、多くの実りを私に与えてくれました。これからも、質の高い生徒さんが本校から旅立たれることを祈念します。お世話になりました。ありがとうございました。

第 40 回山形県特別支援学校 PTA 連合会研修大会

10月26日(水) 山形県立鶴岡高等養護学校にて(5名参加)
テーマ「自分らしく生きるために～今、大切なこと」
前PTA会長が表彰されました。

編集後記

日頃よりPTA活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。ここに『むつぼし第14号』をお届けします。発行にあたりお集まりくださった皆さん、投稿していただいた方々、編集された先生方、本当にありがとうございました。

(総務・広報部長)